



いおぎ だより

平成26年9月号

杉並区立井荻小学校

平成26年9月1日発行 No.554

集団の中で育てる

校長 梅津 典子

厳しい暑さや天気の変化の続いた夏休みが終わり今日から2学期が始まりました。今年の夏は局地的な豪雨が多く、一日で1ヶ月分の雨が降ったり、隣町では全く降っていなかったり、急激な変化に対応できず、被害が大きくなってしまいました。家や車の中で被災した方も多く、被害の状況を知る度に、心が痛みます。

しかし、つらいニュースの中でも、人々の助け合いの話を聞くと、救われる思いです。特に、たくさんの犠牲者を出した広島土砂災害では、未明の暗がりの中で土砂に埋もれたり濁流にのまれたりした人を救う、ベランダに取り残された一家を助け出すなど住民同士が力を合わせて助け合ったとのこと。手助けした住民の中には、初めて見る顔もあったと報道されていますが、これを機会に住民同士のかかわりが深まり、助け合い励まし合って、今後の生活を切り開いていってほしいと願うばかりです。

先日、文部科学省の方がこんな話をされました。「外国の教育関係者から日本の教育について質問されたので、学校の生活について、朝の会から授業、給食、清掃などについて話した。彼らが興味を持ったことの一つに、授業以外の時間があった。」つまり、朝の会や清掃、給食の時間などを通して、日本の学校では『共学、協働、共創』を学んでいるということです。確かに、チームワークやマナーのよさは日本人の強みであると思います。

一方、自己主張の弱さや指示待ちの多さ、自分に自信がないなどは日本人の弱さではないでしょうか？2011年に行われたアメリカ、中国、韓国、日本の高校生の調査でも、自分を価値ある人間と思う自尊心については、肯定率が他国の半分以下の数値であり、「現状を変えるよりそのまま受け入れる方が楽」「自分はだめな人間だ」の否定的な肯定率は高

いのだそうです。

では、自分への自信はどうやって育てることができのでしょうか？単純に自分本位に自信を持っているだけでは、「うぬぼれ」や「傲慢」になってしまいます。自分への自信、自己肯定感は、周りからの評価、つまり、他者から認められたり、褒められたりすることで育つのだそうです。子どもは、一人だけで育つのではなく、家庭や学校、地域という集団の中で評価されて、正常な自尊感情を育てていくのです。

井荻小学校では、さまざまな集団活動を実施しています。授業中に2人で行うペア学習、3～4人で行うグループ学習、学級全員で行う一斉授業、係活動や当番活動、委員会活動やクラブ活動、きょうだい学年での活動など、どれも自己主張するだけでは周囲から認められません。分からない時は自分から「教えて」と聞いたり、困っている人を助けたりして認め合っていくのです。集団での様々な活動を通して、認め合い、自尊感情を育てていきたいと思っています。



小中一貫教育の取り組み

小中一貫コーディネーター 猜 拓郎

小中一貫教育とは、同じ地域を学区域にしている小学校と中学校が、9年間を通じた教育について合同で考え、よりよい教育を目指す取り組みのことです。井萩小学校は、荻窪中学校・桃井第三小学校と三校で一つの研究グループとなり、5年前から連携を続けています。本年度も、「地域とかかわり、つながる活動を通して、児童・生徒が地域に親しみ、地域への愛着を高め、地域の実態や課題を探究的に学び、創造的、協同的に地域の課題の解決に取り組む態度を養う」「地域の中で生きる自分自身を振り返り、これからの生活や自らの生き方について考えることのできる児童・生徒を育成する」をねらいとして、さまざまな活動を実践しています。

まず、各学校の学校公開日や道徳授業地区公開講座の参観です。各校とも、都合のつく時間を見つけて参観し合い、相互理解を深めていっています。2学期も9月4日（木）、9月9日（火）に井萩小学校の道徳授業地区公開講座に保護者の方に交じって各校の先生方も参観されていると思います。

次に、6月27日（金）には、荻窪中学校生徒会役員が本校の5、6年生を対象に荻窪中学校での活動を紹介してくれました。また、荻窪中学校環境リーダーの生徒が本校4年生を対象に「環境を守るためのチェックシート」を説明しました。子どもたちの様子を見ると、中学生の取り組みに関心を示すと同時に、自分たちにできる環境を良くする取り組みを真剣に考えていました。7月4日（金）の昼休みには、荻窪中学校図書委員会による「読み聞かせ」が開催されました。子どもたちは中学生の読み聞かせをととても興味深く聞いていました。この読み聞かせは、各学期に1回、年3回実施されます。

7月2日（水）には、本年度の第1回教員研修会を行いました。今年は桃井第三小学校がICTを取り入れた授業を行い、荻窪中学校と井萩小学校の教員が参観し、学力向上・特別支援教育・ICT教育の3つの分科会に分かれて話し合いました。

8月26日（火）には、第2回小中一貫合同研修会を行いました。前回の話し合いを生かし、研鑽を深める中で、三校の児童・生徒が保護者や地域の方々に支えられ、深いつながりをもってはぐくまれていることをあらためて実感すると共に、三校が協力して、さらにより良い教育活動を進めていく決意を新たにしました。

今後も、さらに三校の教員、児童・生徒の交流を充実し、地域と連携した小中一貫教育の推進を図ってまいりたいと考えています。



小学校の外国語活動から感じること

外国語担当 大沼 文恵

小学校の外国語（英語）活動の目標は、次の三つの柱から成り立っています。

- ① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ③ 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

この三つの柱を踏まえた活動を繰り返し行うことによって、次の中学校での外国語科の学習の素地を身につけさせようとするものです。小学校英語は中学校の学習内容を前倒しして指導するものではなく、体験的に英語を聞いたり話したりすることを通して英語に慣れ親しむことを目標としています。

日頃、外国語活動の中で感じることはこの外国語活動での子どもたちの経験は、特に英語の場面だけでなく、日常生活の中でも必要なスキルを身につける機会であるということです。「英語」といういつもと違う言語を介してコミュニケーションを図ることによって、「相手の話を最後まで聞く」「話している相手の目を見る」「返事をする」といった普段無意識にしていること、または希薄になりがちなことを意識的にしている場面があります。相手のことを理解したい、相手に伝えたいという気持ちが子どもたちの目や手などの動きから伝わってきます。すると相手も、伝えたいという気持ちになりゆっくり言ったり、もう一度繰り返したりします。それは、日本語や外国語に関わらずコミュニケーションをとる上で重要なことであり、不可欠な素地だと思います。日常の会話では、大人も子どもも忘れがちになっていることを、私も改めて感じることができました。

小学校における外国語活動は、語学力の習得だけでなく多方面でのねらいをもっています。子どもたちに多くのことを経験できる機会としたいです。

もっとからだを動かし体（たい）！！

体力向上委員会 山口 真

今年も、体力向上委員会では、子どもたちの体力向上を目指した活動に取り組んでいます。その一つが、毎週火曜日の中休みに行っている【井荻チャレンジタイム】です。今年も、井荻サーキット（校庭バージョン・体育館バージョン）やドッジボール、長縄に取り組んでいます。とくに『井荻サーキット』では、今までの運動に加えさらに動きを増やしました。高く跳ぶ、左右に跳ぶ（横）、登る、ぶら下がる、跳び越える、跳び下りる・・・など、複雑な動きもありますが、1年生から6年生まで、日に日に上手にこなすことが出来るようになってきています。

日々の積み重ねが、子どもたちの体力増進と、心身ともに健康な体の育成につながっていくと考えます。これからも、子どもたちの「もっとからだを動かし体（たい）！」という欲求に応え、様々な取り組みを考えていきたいと思えます。ぜひ、ご家庭でも親子で運動に取り組む機会を作ってみてください。



9月の行事予定

1	月	始業式 大掃除
2	火	給食開始 計測6年 5時間授業 B時程 川の活動(4年:2・3校時)
3	水	専科授業開始 委員会活動 川の活動(6年:2・3校時) 計測5年 夏休み作品展始
4	木	道徳授業地区公開講座(1~3年:5校時) 保護者会(1~3年) 計測4年
5	金	計測3年 演劇教室4年 川の活動(6年予備日)
6	土	土曜クラブ(囲碁・チャレンジキッズ)
7	日	おやじの会(水鉄砲合戦)
8	月	計測2年 クラブ活動 学校見学始 生活リズム表始
9	火	道徳授業地区公開講座(4~6年:5校時) 保護者会(4~6年) 計測1年
10	水	水泳指導終 夏休み作品展終 学校説明会 安全指導 4時間授業(研究授業のため1 年は5時間授業)
11	木	虫の観察会(1・2年:2・3校時)
12	金	学校見学終 生活リズム表終 小児生活習慣病予防健診(4年) 川の活動・ヤゴ(3年:5校時)
13	土	未就学児対象オープンスクール 6年荻中授業体験 土曜クラブ
14	日	
15	月	敬老の日
16	火	運動会係打ち合わせ(5・6年)
17	水	ふれあいタイム
18	木	
19	金	
20	土	土曜クラブ(お箏といけばな)
21	日	
22	月	運動会係打ち合わせ(5・6年)
23	火	秋分の日
24	水	4時間授業(研究授業のため)1-1は5時間授業
25	木	
26	金	前日準備4時間授業(5・6年は6時間)
27	土	運動会
28	日	運動会予備日
29	月	振替休業日
30	火	

9月の生活目標

「みんなで協力しよう！」

生活指導部 山口 真

さあ、二学期が始まります！二学期は一年の中でも行事が多い学期です。9月の終わりには、その一つとして運動会があります。小学校生活の様々な場面の中でも、特に運動会は、毎年子どもの成長を感じます。

中でも、高学年は競技や演技だけでなく、係活動や準備や片づけなどを通して、自分のことだけではなく、みんなのために責任をもってやらなければならないことを学んでいきます。「みんなと協力して取り組むことで、大きな力をうむ」ということが、目に見えてわかるという意味でも、行事は大きな役割を果たしていると思います。

反対に、協力せずに自分だけの力で成功したとしても、大きな達成感や感動はうみません。お互いに協力してこそ、相手を思いやる気持ちが生まれ、大きな喜びを感じ、またがんばれるのです。

「大切なのは、どれだけのことをしてあげたかではなく、どれだけ気持ち(愛)を込めたかです。」— マザー・テレサ —

「協力すること」も同じことだと思います。一学期にも、たくさんの協力する場面を積み重ねてきました。そのことを生かしつつ、さらに協力する力を身につけ、ひとまわり成長した姿を見せてほしいと思います。

夏休み作品展のお知らせ

本校では、子どもたちの夏休みの作品を、特活室に全児童展示します。毎年、工夫を凝らした素晴らしい作品が並びます。ぜひ、保護者の皆さんもご覧ください。

期間：9月3日(水)～9月10日(水)

保護者見学時間：9:00～16:30

場所：特活室

☆ご来校の際は、スリッパ等の履物をご持参の上、受付名簿にご記名ください。

連絡：9月の避難訓練は、事前連絡なしで行います。